

遊技産業
マネジメント
カレッジ

パチンコ・パチスロ新時代の リーダーを育成、 産業の成長・繁栄を目指す



「業態は変えられる。変える勇気を持って」と熱のこもった挨拶をする深谷会長

統一テーマ「パチンコファン 3000万人復活！」

新基準機への切り替えも進み、パチンコ・パチスロ新時代に入った9月14、15日、日遊協が主催する「第1回遊技産業マネジメント・カレッジ」が、静岡県伊東市、セガサミーホールディングス株の研修施設「シースケープ伊豆高原」で開かれた。研修の統一テーマは「パチンコファン3000万人復活！」。

対象は日遊協会員企業の中堅管理職で、とくにホール会員の場合は店長等講習・試験の合格証取得者が条件となっている。ホール31人（13社）、メーカー12人（5社）、販社9人（5社）、卸2人（1社）、賛助会員1人（1社）の計55人（25社）が、全国から参集した。

カレッジの主な目的は、①パチンコ・パチスロ産業を牽引するリーダー同士の業種を越えての人脈形成②

パチンコ・パチスロ産業の将来への夢の共有③優れた先人のDNAの継承——で、業界横断組織である日遊協の利点・特色をフルに生かす。店長等講習・試験のグレードアップ版としても位置付けられる。

* * *

〔1日目〕

14日午後1時半、開講式が行われた。

深谷会長は「企業は今や、各部門でしっかりしたマネジメントが行われ、中で働く人たちが自分たちの部門を成長させていく意識が大事です。その部門を皆さんは担っておられる。風営法の下にあって変えられないものはあるが、業態は変えることができる。新たなビジネスチャンスはたくさんある。今までの延長線上

を歩くのではなく、変える勇気を持って欲しい。「ファン3000万人復活！」のため、若い皆さんがこぞってアイデアを出していただく事が業界の発展につながると確信します」と挨拶した。

◇グループワークと特別講演

午後2時半、研修生55人は6、7人ずつ9班に分かれ、グループワークに移った。各班はリーダーを選び、テーマを決めていく。各研修生は事前に「パチンコファン3000万人復活！」のためのアイデアを事務局に提出しており、各班は先ずそれらをたたき台に討論に入った。グループワーク担当の外部講師2人が班を巡りながら助言をし、約1時間半後には全ての班が大雑把ながらテーマを固めた。



遊技産業 マネジメント カレッジ



なごやかに歓談する、左から庄司相談役、深谷会長、松谷北海道支部長、平本相談役

スピーチするセガサミーの里見会長

同4時にグループワークを中断、有限責任中間法人遊技産業健全化推進機構理事でNPO法人「21世紀大学経営協会」副理事長の關昭太郎氏が「変革期に期待されるリーダーシップ」と題して、約1時間半、特別講演を行った。(10~15頁に關昭太郎氏の講演要旨)

◇夕食・交流パーティー

午後6時からの夕食・交流パーティーの冒頭、里見治セガサミーホールディングス株式会社社長(日電協理事長)がスピーチを行った。同氏は「昨年暮にパチスロは一瞬、設置台数が200万台になった。今は多分150万台を割っている。20年以上かけて200万台になったのだが、一瞬のうちに4分の1ほどが消えた。今、パチンコは概ね玉単価80銭以下が『遊パチ』の定義で作られていると思うが、私の感覚で言うと、今のパチスロは玉単価に直すと60銭、70銭だ。一概に射幸性だ

けの問題ではないが、様々な要因と合わせてこのような解釈基準の機械のみとなれば、パチスロは100万台ぐらいに減ってしまう」と述べた。

その上で、「日電協は、5号機等に関してホールとファンに行ったアンケートを、10月半ばぐらいまでにまとめる。業界団体のご協力をいただきながら行政に対して、単純に射幸性を高めるのではなく、解釈基準を変える中で設計の自由度を求め、ファンのニーズに合った誰もが楽しく遊技できるゲーム性豊かな機械を作れるようお願いをしていきたい」と語った。

夕食・交流パーティーは立食形式で行われ、里見氏のほか片本通サミー株式会社社長(前日電協企画・教育委員会委員)、石橋保彦株式会社社長(日電協理事)、庄司正英ピーアークホールディングス株式会社社長(日電協元会長)、平本将人株式会社社長(日電協前会長)、金沢全求株

三洋物産専務(日電協企画・教育委員会委員)など業界のリーダーたちが特別ゲストとして、さらに日電協から深谷会長、阿部、大久保、山田の3副会長、知念、松谷、吹浦の3理事が参加した。特別ゲストたちを囲んで各所に人の輪ができ、和やかな歓談が続いた。

パーティー後の同7時45分から、グループワークが再開された。パーティーの後で多少のアルコールが入っていたが、翌日のプレゼンテーションを目指して真剣な討論が行われた。片本、石橋、庄司、平本、金沢の5特別ゲストと日電協の阿部、大久保、山田の3副会長、松谷理事が1人ずつ班の討論に加わり、体験に基づいた助言をした。

〔2日目〕

15日は午前6時に起床。朝食前の30分間、全員が施設内や周辺で清掃、草むしりなどの早朝奉仕を行った。

奉仕が適度の運動になって、朝食時、バイキングの配膳テーブルにたちまち長蛇の列ができた。

◇グループワークとプレゼンテーション

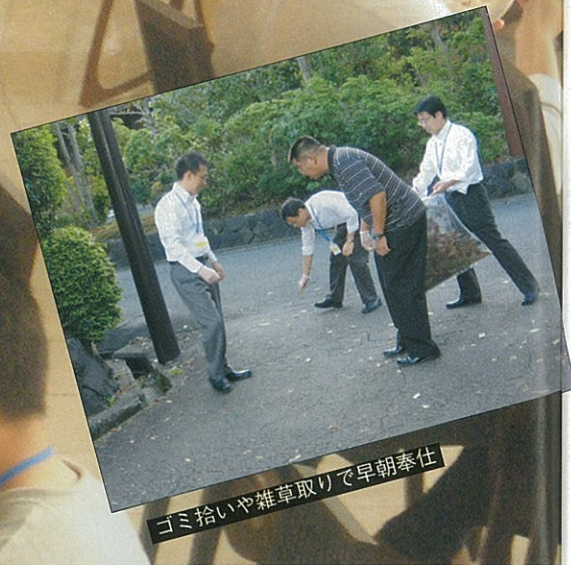
午前8時15分から、グループワーク開始。講師のアイデアで班のメンバーを一時的にシャッフルし、各人が別の班の内容を持ち寄ってきて、それらを参考にしてテーマの最終的な詰めが行われた。

同10時過ぎ、2室で4班と5班に分かれてプレゼンテーションが行われた。持ち時間は5分間。両室で投票が行われ、第3班「新規ユーザー獲得(世代別プロモーションの展開)」、第6班「18歳の新規顧客の開拓」がそれぞれ優秀班に選ばれた。この後、両班が全員の前で再度のプレゼンテーションを行い、特別ゲスト、日電協幹部による審査の結果、第6班が99ポイントで金賞、第3班が90ポイントで銀賞に決まった。

遊技産業 マネジメント カレッジ



ほぼ全員が初対面。随所で自己紹介や名刺交換



ゴミ拾いや雑草取りで早朝奉仕

朝食。早朝奉仕で食欲旺盛

◇表彰式と閉講

表彰式の後、研修生を代表して、金賞、銀賞を受賞した班のリーダーが感想を述べた。

第6班の深谷太詞氏は「今業界を動かしている人たちと立場を越えて話し合えたことは貴重な体験だった。皆、この業界を元気にしたい思いは同じだった。我々カレッジ第1期生の手で、明るい展望を開いていこうと思った」と語った。



深谷太詞氏

第3班の桑田貴司氏は「ファンの減少を食い止めないとビジネスが成り立たないということが現実起こっている中で、同業他社の枠組みを越えて意見交換できたことは非常に有意義だった」と述べた。

知念日遊協企画・教育委員会委員長は「第6班は『パチンコは18歳からできるんだ』と、前向きに高い目標を立ててくれた。第3班は現実的でドロ臭く攻めたこ



桑田貴司氏



知念企画・教育委員会委員長

とが評価できた。すべての班が、それぞれ特徴のあるプレゼンテーションをしていた」と講評した。

最後に三上日遊協専務理事が、会場を提供してくれたセガサミーホールディングス(株)、サミー(株)に改めて謝辞を述べ、「2日間の熱心な討議が、これからの産業の未来を象徴するように、この産業を力強く発展させていこう」と閉講の挨拶をした。



三上専務理事

「カレッジに参加して」(金賞、銀賞受賞班) (敬称略)

第6班 (金賞)

香川利夫 パワーのあるメンバーたちと夢や未来を語り合って、元気がわいた。

樋口正和 改めてパチンコ業界のことを考えさせられた。業界を成長させなければと思った。

安藤彰展 夢とビジョンが大きく膨らんだ。

盧昇 業界の仕事にわくわくした。若い人たちと一緒にビジョンを実現したいと感じた。

金海晃和 ここで話し合ったことについて、実現性を持たせたい。

第3班 (銀賞)

清水裕晃 大変ためになった。この業界を良くしてい

こうという皆さんの思いが強く伝わってきた。

高橋裕史 競争するところはする、手を組むところは組むということが明確に話し合えた。

渡邊厚 非常に活発な意見交換があり、良かった。また機会があれば、ぜひとも参加したい。

岡田亘 皆さん大体同じような考えてだと確認できた。職場に持ち帰り、広げていきたい。

北村陽一 夢というより、具体的に実現できるかも知れない事を皆さんと一緒に話し合えた。

“若い熱意と知恵”で 業界を活性化 金賞、銀賞班で作業部会設置へ

日遊協は、第1回遊技産業マネジメント・カレッジで発揮された中堅管理者たちの“熱意と知恵”で業界の活性化を促進させるため、金賞、銀賞をそれぞれ受賞した第6班、第3班のメンバーで構成する作業部会の設置を検討している。

作業部会では今回それぞれから提案された「18歳の新規顧客の開拓」「新規ユーザー獲得(世代別プロモーションの展開)」を実現させるため、随時会合を持ち、討議を深めていく計画だ。

業界リーダーたちも加わって、夜のグループワーク。石橋(平和)会長も(手前)テーブルの右から2人目。

「パチンコファン3000万人復活！」受賞したプレゼンテーション (要旨)

金賞 (6班) 「18歳の新規顧客の開拓」

これから社会に飛び立っていく18歳をターゲットに、キャンペーンを展開する。18歳の人たちにパチンコを知ってもらい、ファンになってもらうことも重要だが、リクルーティングの一環として、パチンコ業界で働きたいと思ってもらうような環境作りもしたい。

ファンは10年かけて漸減してきており、増やすのも10年かかる。18歳人口が今150万人といわれており、150万人の18歳人口に10年間、キャンペーンを通してパチンコを伝え、10年で1500万人の新

深谷会長と並ぶ金賞メンバー



たなファンをつくる。現在の遊技人口1600万人を維持したとして、10年で3000万人前後になる。さらに18歳にターゲットを絞ることでパチンコのフレッシュなイメージが上の世代へ波及効果をもたらすと考え、プラスアルファで3500万人を獲得したい。

キャンペーンは「お父さんと一緒にパチンコ」のイメージで、業界全体で取り組む。メディア展開を徹底的に行う。「お父さん、もう18歳だからパチンコ教えてよ」「そうだな。最近お前とも一緒に遊んでいないから、パチンコを教えてあげよう」というような、人気女性タレントを起用したCMを流す。家族団欒の場でパチンコが話題になるようになれば素晴らしい。キャンペーンは毎年4~6月にかけて展開し、6月に親子で一緒に楽しむ無料パチンコ体験のようなイベントを全国で催す。

バックアップ体制として、遊び方の説明、擬似体験、業界の社会貢献・地域貢献の広報などを載せた特設ホームページを開設する。キャンペーンの質をより高いものにするため、参加ホールは申し込み制とする。

銀賞 (3班) 「新規ユーザー獲得 (世代別プロモーションの展開)」

業界の健全化、クリーンイメージの訴求を、世代別にターゲットを絞ってプロモーションを行う。1次展開として20~25歳の女性層にターゲットを絞る。この世代の女性のお客様がホールに来ることが、ホールを明るくするし、男性客も一緒に増加するのではないかという意図を込めている。1次展開の検証を基に、2次展開としてサラリーマン層、中年女性層、団塊世代層へとターゲットを変えていき、最終目標の3000万人のファンを取り戻す。

このプロモーションは組織の枠組みを超えた横断的活動となる。先ず資金が必要で、関連団体から資金を集め、例えば「業界イメージアップ基金」を創設する。出資額はメーカーは証紙発給枚数、ホールは入替え台数などを基準にする。

プロモーションの第1目標は、初めての人に気軽に来店してもらうこと。とにかく敷居をまたいでもらう。テレビ、新聞・雑誌、インターネット等で展開する。例えばテレビCMの場合、20~25歳の女性をターゲットにコンセプトは「クリーンで



銀賞メンバーのプレゼンテーション

おしゃれ」。人気モデルを起用し、清潔、ファッションナブルな場所で化粧を直すイメージで、化粧室から出てきたらそこはホール。また、トイレに困ったら、デパートやカフェよりパチンコホールを選んでもらうようなCMもいい。JRAが高倉健、中居正弘、キムタクを使って各世代層にイメージアップを図ったことが模範例だ。

1年で資金を集め、企画を練り、半年間CMを流し、検証する。ホールは実際にCMに沿った環境を整え、この世代に魅力ある賞品を充実させる必要がある。

遊技産業 マネジメント カレッジ



第1回遊技産業マネジメント・カレッジ参加者 班別名簿 (敬称略・順不同)

※ (ホ) ホール、(メ) メーカー、(販) 販社、(賛) 賛助会員の略 ◎がリーダー

第1班 (6名)

萩原律雄 (三宝商事) (ホ)	石川健二 (サンキョー) (ホ)	福井徹郎 (平川興業) (ホ)
首藤保志 (サミー) (メ)	◎大津茂生 (九州エース電研) (販)	平野真人 (大商) (卸)

第2班 (6名)

白石信安 (三宝商事) (ホ)	峰地剛司 (サンキョー) (ホ)	経澤純一 (平川興業) (ホ)
◎戸田茂幸 (サミー) (メ)	堤和弘 (九州エース電研) (販)	佐々木新 (GTディレクションズ) (賛)

第3班 (6名)

清水裕晃 (サンキョー) (ホ)	高橋裕史 (山口商事) (ホ)	渡邊厚 (安田屋) (ホ)
岡田 亘 (千歳観光) (ホ)	◎糸田貴司 (サミー) (メ)	北村陽一 (日進) (販)

第4班 (6名)

伊藤康弘 (サンキョー) (ホ)	◎柴田一憲 (安田屋) (ホ)	加勢 奨 (千歳観光) (ホ)
尾谷春宣 (豊都) (ホ)	須田貴夫 (サミー) (メ)	小島孝志 (日進) (販)

第5班 (6名)

山下秀樹 (サンキョー) (ホ)	板橋英二 (豊都) (ホ)	平本直樹 (プローバ) (ホ)
鈴木克之 (サミー) (メ)	池田克彦 (グローリーリンクス) (メ)	◎岩井信幸 (日進) (販)

第6班 (6名)

香川利夫 (プローバ) (ホ)	樋口正和 (タイホウバレイ) (ホ)	安藤彰展 (玉屋) (ホ)
◎深谷太詞 (ファミコポレーション) (ホ)	慮 昇 (三洋物産) (メ)	金海晃和 (ニューギン販売) (販)

第7班 (6名)

松崎史成 (プローバ) (ホ)	水野野一 (タイホウバレイ) (ホ)	山口智也 (玉屋) (ホ)
小島英稔 (ファミコポレーション) (ホ)	◎保谷 誠 (三洋物産) (メ)	谷 修平 (ノア) (販)

第8班 (6名)

森田 守 (玉屋) (ホ)	早川幸雄 (ファミコポレーション) (ホ)	高瀬 智 (京楽) (ホ)
渡邊幸男 (三洋物産) (メ)	◎山口孝穂 (京楽産業.) (メ)	濱川晃臣 (アス・ワン) (販)

第9班 (7名)

松好克典 (ファミコポレーション) (ホ)	萬道真介 (森創) (ホ)	成瀬誠一 (山口商事) (ホ)
早乙女幸央 (グローリーリンクス) (メ)	園田悦志 (大商) (卸)	沖土居光広 (アス・ワン) (販)

◎渡辺圭市 (平和) (メ)

参加者と特別ゲスト、日遊協幹部らとの記念撮影。前
列右から5人目が深谷会長 (9月15日研修所の庭で)